

昼下がりの演奏会 #4

こんかい えんそう
今回、演奏するのは **クラリネット** と **ピアノ**。 きょく う さつきよか さくひん
2曲とも、アメリカ生まれの作曲家の作品。

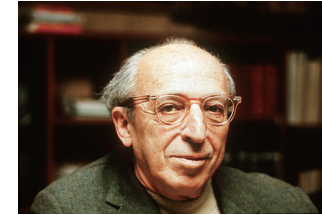
①バーンスタイン「クラリネットとピアノのためのソナタ」

バーンスタインは作曲家としても、指揮者としてもとても有名。
この曲はバーンスタインが23歳のとき、1942年にできた作品。
2つの楽章から構成されており、第1楽章は、フランスの音楽を思
わせる、しずかで神秘的な音楽。つぎの第2楽章は、第1楽章に似た
雰囲気の前奏のあと、アメリカ的なノリのよい音楽になる。



②コープランド「クラリネット協奏曲」

この曲はコープランドが50歳（1950年）くらいのときの作品。
2つの楽章から構成されているが、第1楽章と第2楽章の間には、
「カデンツァ」とよばれる、ソロを演奏する人が活躍する部分がある。
また、この曲はすべての楽章が休みなく続けて演奏される。



Q. クラリネットはどっち？



がっき おと きょく かん
楽器の音や曲をきいて感じたことば、
おんがく き え じゅう
音楽を聴いておもいうかんだ絵など、自由にかこう！

きょうはありがとう！ かけたら、さいごにぜひ、みせにきてください！